

昭和二十二年六月十二日 (第三種郵便物認可)
令和五年十一月十三日発行 (毎月一回十三日発行)

定価 五〇〇円

第986号

龍

跳

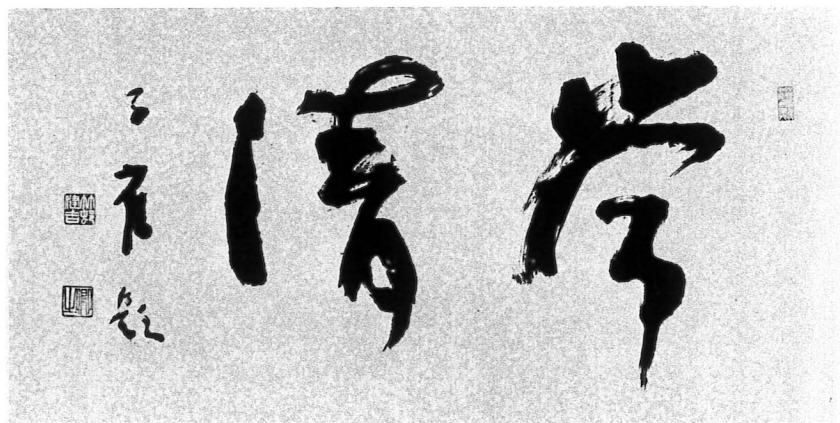
第七十九卷

12

月号

高知
龍跳書道会

竹
村
子
雀
書



常清

興福寺斷碑

王羲之



之秩雖法師中尉總南宮之禁其或瞻剛如鐵操緊明霜酌龍豹之神韜

興福寺断碑

王羲之

中国では、唐代以後、明代頃まで、王羲之の字を集めて碑を造ることが盛んに行われた。

今では、その殆どは見ることができないが、興福寺断碑は集字聖教序と並び、現存する集字碑中の逸品として特に有名である。

その書風は、聖教序の謹嚴、精妙な趣とはやや異なり、温和にして悠揚、高逸な響きの中に朴雅の味わいをも持つている。

福 原 曉 雲 書

紫陌紅塵拂面來無人不道看花回玄都觀裏桃千樹盡是劉郎去後栽

紫陌紅塵拂面來無人不道看花回玄都觀裏桃千樹盡是劉郎去後栽

西 山 極 山 臨

梧桐早彫陳根委翳落葉飄飆遊鷗獨

梧桐早彫陳根委翳落葉飄飆遊鷗獨

西山極山臨

梅
川
桂
龍
書

世
味
門
常
掩

世
味
門
常
に
掩
い

11月20日締切

梅
川
桂
龍
書

時
光
簞
已
便

時^じ光^{こう}
簞^{てん}
已^{すで}に便^{べん}なり

福
原
曉
雲
書

動止
方寸

動止どうし矩方くほうに中あたる

福
原
曉
雲
臨

興
福
寺
斷
碑

雖
法
師
中
尉

雖
法
師
中
尉

江西澄翠書

晚經黃雀開司
曉望殘月落森
聲

江西澄翠書

野中惠花臨

天不悔禍誰為
念爾道殘百身

野中惠花書

市原處艸書

初水如龍也來平野
市原處艸書

深瀬綠堂臨

忽為去札深以色法香
等以三日來也

深瀬綠堂

衣錦東南第一州棘
壁湖山雨清照

里華公

岩河里華

神武天眩光下激鴻
臚初唱第一聲

皓月堂

奥堂皓月

鶴疑縮頸還青松本無
暮安得保歲寒

紅子

水田紅子

第一州棘壁湖山雨清
照襄陽野老漁竿

美賀

大野美賀

垂翠似知節含芳如舊情
金由履趾少併乞之僧生

洋堂

浜崎洋堂

久矣之六何以大以友
此以芳中法邪

空仁

岡本空仁

宗衆經之軌踞也綜
括宏遠奧旨遐

悠道

伊吹悠道

重九會郡樓山清氣
爽九秋天黃菊紅

賀峰

弘田賀峰

是日也天朗氣清惠風
和暢仰觀宇宙之

桂草

平井桂草

客白月明里
南飛生非曹

祝子

橋本祝子

条幅当選作品

前田秀華 選評

★天位

岩河里華君 着実な筆致で好感の作。

奥堂皓月君 丸みのある線大らかな呼吸、原帖の味あり。

水田紅子君 一紙を圧して体も良く動いている。

大野美賀君 ゆったりとして安定感がある。

浜崎洋堂君 良く流れて品格あり。

★地位

岡本空仁君 余白が生きた素朴な臨。

伊吹悠道君 雄健にして字々躍動している。

弘田賀峰君 誠実に臨してあか抜けしている。

★人位

平井桂草君 真面目な書きぶり、おだやかな作。

橋本祝子君 嫌味のない丁寧な運筆。

作品は毎月20日必着
(必ず守って下さい)

▷ 次回審査会 ◁

11月の審査は26日（日曜）午前9時30分に開始
します。審査会場は**高知城ホール**です。

審査会終了後（12時～）条幅勉強会を行います。希望の
方は、筆、墨、墨入れをご持参下さい。（参加料500円）

初雪の
遠山

中學一年課題
廣末幽念書

古文 明代

12月20日締切

福引券

12月20日締切

小学五年課題

隅田亘心書

北寒
国い

12月20日締切

用火

心の

小学三年課題

大原桂園書

市場

12月20日締切



12月20日締切

小学一年・ようち・ほいく課題

市原處艸書

つる

12月20日締切

[illegible]

12月20日締切

[illegible]

学校名										
四年										
級段										
氏名										
	走	ム	き	を	様					
	ッ	は	く	表	子					
	て	風	開	し	が					
	い	を	け	な	よ					
	ま	は	て	が	く					
	す	ら	、	ら	伝					
	。	み	全	走	わ					
	ユ	、	身	る	り					
	ニ	口	で	選	ま					
	ホ	を	喜	手	す					
	ー	大	び	の	。					

小学三年課題

野中恵花 書

学校名		る	光	色	げ	ず	
		、	る	づ	か	み	秋
三年		よ	こ	き	ら	ぬ	に
		い	ろ	ま	ふ	る	は
級段		な	は	し	も	で	、
氏名		が	た	た	と	の	か
		め	た	す	ま	葉	え
		で	め	す	で	、	で
		し	息	す	美		、
		た	の	き	し	と	が
		、	出	の	く	う	ま

がっこう					
	ゆ	の	出	船	
	っ	水	し	み	ア
二	く	色	て	た	イ
ねん	り	の		い	ロ
だ	す	ス	お	。	ン
き	す	カ	か	け	っ
ゆう	む	ー	あ	む	て
なまえ	。	ト	さ	り	
		を	ん	を	

がっこう				
ほ ね	き	さ	こ	う
だ き ゆう なまえ	こ	え	と	ら
	え	ず	り	や
	て	り	の	ま
	き	が		か
	ま			ら
	す。			

お知らせ

☆第77回県展（高新記載順）

入 選 西 山 極 山

〃 佐々木 港 花

〃 福 原 暁 雲

〃 梅 川 桂 龍

〃 大 原 桂 園

〃 岡 崎 緑 水

〃 前 田 秀 華

〃 野 中 恵 花

★高知選抜書展

会期・10月29日（日）～12月3日（日）

午前9時～午後5時

（休館日・月曜日）

会場・安芸市立書道美術館

★第45回 畫心会書展

会期・11月17日（金）～11月19日（日）

午前9時～午後5時（最終日は午後4時まで）

会場・須崎市立文化会館

※畫心会出品作の

搬入日時は

11月16日（木）の午後1時です。

ご都合のつく方はご協力下さい。

（畫心会実行委員）

好鳥不 妨眠 大賀吉	好鳥不 妨眠 吉賀 澤柳 大伴 芳明	好鳥不 妨眠 藤心堂	好鳥不 妨眠 赤松山	好鳥不 妨眠 松林	好鳥不 妨眠 松林	好鳥不 妨眠 松林	好鳥不 妨眠 松林
好鳥不 妨眠 輝奈吉	好鳥不 妨眠 東華	好鳥不 妨眠 美枝	好鳥不 妨眠 美枝	好鳥不 妨眠 松林	好鳥不 妨眠 松林	好鳥不 妨眠 松林	好鳥不 妨眠 松林
好鳥不 妨眠 由美	好鳥不 妨眠 美枝	好鳥不 妨眠 英子	好鳥不 妨眠 英子	好鳥不 妨眠 仁美	好鳥不 妨眠 仁美	好鳥不 妨眠 松林	好鳥不 妨眠 松林
好鳥不 妨眠 由利子	好鳥不 妨眠 松林	好鳥不 妨眠 松林	好鳥不 妨眠 松林	好鳥不 妨眠 松林	好鳥不 妨眠 松林	好鳥不 妨眠 松林	好鳥不 妨眠 松林

(一・二段目) 福原曉雲 選評

賀峰君 正統の用筆は揺ぎない。

恵花君 規模大にして力強い。

極山君 やさしい書体、流麗で優雅。

花梢君 整正沈着にして暢達の作。

美賀君 一点一画、几帳面に書して

まじめな作品。

羽花君 やさしいまろやかな作品、

上品。

(二・三段目) 塚地桂峰 選評

秋桜君 力強く堂々とした作。

美桂君 伸びやかな線で明るい。

康華君 運筆良く力強い。

理奈君 力強く堂々とした作。

恵泉君 まじめな作。好感がもてる。

(三・四段目) 武内美仁 選評

仁実君 一紙の構成絶妙、すばらし

い。

英子君 大胆な筆致で骨力に富む。

美邦君 流れよく、筆意のたのしい

作。

由美君 軽妙な筆致で安定している。

明美君 筆圧の変化、字々のめりは

りが共に上手い。

久美子君 着実な運筆で明るい作。

(四段目) 西山極山 選評

朋子君 丁寧に書けて明るい作品。

美枝君 堅実な書きぶりで好感がも

てる。

由利子君 一点一画丁寧に書けてい

て。この調子でがんばつ

蓋聞二
儀有

立身順
謹重

羣賢
畢至

四時無
形潛

敲枰使
傳道

立身順
謹重

方為
童蒙

四時無
形潛

解身不
殊

示和
故可

風規
常情

耻屈監
種出

君諱全
字景完

敲枰使
傳道

震五秋
東勤

棘壁湖
山雨清

能得議
後若

言勤王
則如

四時無
形潛

棘壁湖
山雨清

(一・二段目) 梅川桂龍 選評

幸仙君 氣脈貫通し、線に深みあり。
里華君 輕妙な筆致で安定している。
澄翠君 骨力に満ち、古代の風趣を
想像させる。

仁子君 線質清澄、余白も生きて可
恵子君 素直な運筆で筆力もある。
美泉君 筆全体を駆使した線で趣あ
り。

(二・三段目) 廣末幽念 選評
碧香君 伸び伸びとした運筆で明る
い。

喜子君 動き良くまじめな作。
多嘉君 線に強さあり好感もてる。
星舞君 強い線で氣力を感じる。
薫山君 堅実な書きぶりで堂々とし
ている。

(三・四段目) 野島桂山 選評
倫子君 勢いがあり章法もよい。
仁実君 線がよく伸びてバランスも
良い。
仁陽君 堅実な書きぶりに好感がも
てる。

房 君 温かな線質で明るい。
紀美子君 氣負なく温和な作。
勝子君 重厚な線で見応えあり。
(四段目) 岡林邦心 選評
悦枝君 力強くまとまりも良い。
志津君 良く書けているが、線に筆
圧が欲しい。
美枝君 大らかにまとめて可。

リサ君はよくまとめています

– 30 –

の七 海つ
の七 海つ
年月
ちず
ちず

すさき 松田孝乃
同量四年 中町三子
三年 清とうふん
二年 ありさ はるあ

の七 海つ
の七 海つ
年月
ちず
ちず

小高坂 二年 川西康介
須永 二年 西村水子
二年 すがん ぶん けいす

の七 海つ
の七 海つ
年月
ちず
ちず

四年 宮脇 交子
二年 田村 けいこ
すさき 二年 田村 六香
かみん ぶん とも はるあ

の七 海つ
の七 海つ
年月
ちず
ちず

同量小 三年 須永 三年 田中梅空
浦内 二年 正木 芳尚
二年 すがん ぶん とも はるあ

の七 海つ
の七 海つ
年月
ちず
ちず

同量小四年 西倉 明希
すさき 三年 金堂 潤生
小一 木 田しづ子
おこう小一年 しずはるあ

の七 海つ
の七 海つ
年月
ちず
ちず

上分 四年 田中 べり香
三年 宮地 舜翔
二年 新井 かな子
あさき 二年 ますみ のぶ

(一・二段目) 小学四年

葉乃君Ⅱはじめに書いていますが、最後までゆつくりと。
百叶君Ⅱ明るい作品で良い。

改太君Ⅱのびのびとしてよくまとめている。

倅空君Ⅱ紙面いっぱい力強い。

咲希君Ⅱ明るく素直に書けている。

こころ君Ⅱ強い線で体がよく動いている。この調子で。

(二・三段目) 小学三年

康介君Ⅱよくまとめています。始筆に気をつけてね。

けんご君Ⅱ元氣よく書きました。

碧空君Ⅱのびのびと力強くかけました。

莉李君Ⅱ線が強くよくまとめています。

舜翔君Ⅱのびのびと書けました。

らん君Ⅱはじめに書けています。これからがんばって。

(三・四段目) 小学二年

太希君Ⅱいいねいに整っています。

さ雪君Ⅱ力強く書けています。

芳尚君Ⅱいいねいに書けています。

ともき君Ⅱのびやかで元氣な字です。

かなこ君Ⅱのびのびしていいねい。

はるた君Ⅱ筆使いよく力強い。

(四段目) 小学一年・ようちん ほういく

はるま君Ⅱ大変良い、この調子で。

いぶき君Ⅱ力いつぱいに書けてます。

あさひ君Ⅱよくまとめています。

のぞみ君Ⅱのびのびかけてます。

廣末幽念 選評

奥堂皓月 選評

須崎 山口 彩心
長岡 安井 風葵

みんなて力を合わせるには
たがいにやさしい心が通い合
っていなければならぬ。そ
のやさしさを人々に育てても
らうために、賢治は、たくさ
んの詩や童話を書いた。

みんなて力を合わせるには
たがいにやさしい心が通い合
っていなければならぬ。そ
のやさしさを人々に育てても
らうために、賢治は、たくさ
んの詩や童話を書いた。

みんなて力を合わせるには
たがいにやさしい心が通い合
っていなければならぬ。そ
のやさしさを人々に育てても
らうために、賢治は、たくさ
んの詩や童話を書いた。

みんなて力を合わせるには
たがいにやさしい心が通い合
っていなければならぬ。そ
のやさしさを人々に育てても
らうために、賢治は、たくさ
んの詩や童話を書いた。

みんなて力を合わせるには
たがいにやさしい心が通い合
っていなければならぬ。そ
のやさしさを人々に育てても
らうために、賢治は、たくさ
んの詩や童話を書いた。

みんなて力を合わせるには
たがいにやさしい心が通い合
っていなければならぬ。そ
のやさしさを人々に育てても
らうために、賢治は、たくさ
んの詩や童話を書いた。

みんなて力を合わせるには
たがいにやさしい心が通い合
っていなければならぬ。そ
のやさしさを人々に育てても
らうために、賢治は、たくさ
んの詩や童話を書いた。

みんなて力を合わせるには
たがいにやさしい心が通い合
っていなければならぬ。そ
のやさしさを人々に育てても
らうために、賢治は、たくさ
んの詩や童話を書いた。

上ノ加江 後藤まなか
新莊 鍋島 綜

みんなて力を合わせるには
たがいにやさしい心が通い合
っていなければならぬ。そ
のやさしさを人々に育てても
らうために、賢治は、たくさ
んの詩や童話を書いた。

みんなて力を合わせるには
たがいにやさしい心が通い合
っていなければならぬ。そ
のやさしさを人々に育てても
らうために、賢治は、たくさ
んの詩や童話を書いた。

みんなて力を合わせるには
たがいにやさしい心が通い合
っていなければならぬ。そ
のやさしさを人々に育てても
らうために、賢治は、たくさ
んの詩や童話を書いた。

みんなて力を合わせるには
たがいにやさしい心が通い合
っていなければならぬ。そ
のやさしさを人々に育てても
らうために、賢治は、たくさ
んの詩や童話を書いた。

越知 大原 瑠心
城東 持田 和花

みんなて力を合わせるには
たがいにやさしい心が通い合
っていなければならぬ。そ
のやさしさを人々に育てても
らうために、賢治は、たくさ
んの詩や童話を書いた。

みんなて力を合わせるには
たがいにやさしい心が通い合
っていなければならぬ。そ
のやさしさを人々に育てても
らうために、賢治は、たくさ
んの詩や童話を書いた。

みんなて力を合わせるには
たがいにやさしい心が通い合
っていなければならぬ。そ
のやさしさを人々に育てても
らうために、賢治は、たくさ
んの詩や童話を書いた。

みんなて力を合わせるには
たがいにやさしい心が通い合
っていなければならぬ。そ
のやさしさを人々に育てても
らうために、賢治は、たくさ
んの詩や童話を書いた。

一ツ橋 田辺 蒼月
長岡 北村きくら子

みんなて力を合わせるには
たがいにやさしい心が通い合
っていなければならぬ。そ
のやさしさを人々に育てても
らうために、賢治は、たくさ
んの詩や童話を書いた。

みんなて力を合わせるには
たがいにやさしい心が通い合
っていなければならぬ。そ
のやさしさを人々に育てても
らうために、賢治は、たくさ
んの詩や童話を書いた。

みんなて力を合わせるには
たがいにやさしい心が通い合
っていなければならぬ。そ
のやさしさを人々に育てても
らうために、賢治は、たくさ
んの詩や童話を書いた。

みんなて力を合わせるには
たがいにやさしい心が通い合
っていなければならぬ。そ
のやさしさを人々に育てても
らうために、賢治は、たくさ
んの詩や童話を書いた。

越知 米澤 知那
浦ノ内 寺田 滯

浦ノ内 宮地 輝翔
矢野 蒼真

上分 梅原 百叶
前田 來音

浦ノ内 森田 葵
小高坂 川西 康介

硬 筆 優 秀 作 品

須南 田中 碧空
目下 井川こはく

赤い火が、あちこちに
上がっていました。お母
さんは、ちいちゃんとお
兄ちゃんを両手につない
で、走りました。風の強
い日でした。

赤い火が、あちこちに
上がっていました。お母
さんは、ちいちゃんとお
兄ちゃんを両手につない
で、走りました。風の強
い日でした。

赤い火が、あちこちに
上がっていました。お母
さんは、ちいちゃんとお
兄ちゃんを両手につない
で、走りました。風の強
い日でした。

赤い火が、あちこちに
上がっていました。お母
さんは、ちいちゃんとお
兄ちゃんを両手につない
で、走りました。風の強
い日でした。

長岡 西内 明利
大谷北 大木 陽智

浦ノ内 正木 芳尚
えの口 下村あみい

「花やさんを通りす
ぎたとき、ミリーの
ぼうしは、鳥でいっ
ぱいの、ぼうしにな
りました。」

「花やさんを通りす
ぎたとき、ミリーの
ぼうしは、鳥でいっ
ぱいの、ぼうしにな
りました。」

「花やさんを通りす
ぎたとき、ミリーの
ぼうしは、鳥でいっ
ぱいの、ぼうしにな
りました。」

「花やさんを通りす
ぎたとき、ミリーの
ぼうしは、鳥でいっ
ぱいの、ぼうしにな
りました。」

長岡 たけうちかなこ
上ノかえ よしはらあや人

久礼 黒原 小春
すさき 金どうすず

「花やさんを通りす
ぎたとき、ミリーの
ぼうしは、鳥でいっ
ぱいの、ぼうしにな
りました。」

「花やさんを通りす
ぎたとき、ミリーの
ぼうしは、鳥でいっ
ぱいの、ぼうしにな
りました。」

「花やさんを通りす
ぎたとき、ミリーの
ぼうしは、鳥でいっ
ぱいの、ぼうしにな
りました。」

「花やさんを通りす
ぎたとき、ミリーの
ぼうしは、鳥でいっ
ぱいの、ぼうしにな
りました。」

上分 よしむらはるか
すなん みやもとほるま

うらノうち 山おか みずき
うらノうち おかばやしゆいか

くじらぐもは、
ジャンブルジムの
うえに、みんなを
おろしました。

くじらぐもは、
ジャンブルジムの
うえに、みんなを
おろしました。

くじらぐもは、
ジャンブルジムの
うえに、みんなを
おろしました。

くじらぐもは、
ジャンブルジムの
うえに、みんなを
おろしました。

あそう まつさかのぞみ
あそう うめばら ゆま

第947回 競書成績

○印規定・随意共通昇級

条幅

審査 前田 秀華

(※印写真版)

★推薦

※江西澄翠
※野中恵花
※市原處艸
※深瀬緑堂

★天位

※岩河里華
※奥堂皓月
※水田紅子
※大野美賀
※浜崎洋堂
大崎花梢
森光望春
岡林邦心
中平美峰
西内仁雅
武政幽雅
明石美桂
岩崎竹山
岡林翠

★地位

池 芳春
氏原美施
大石千施
横山桂華

※岡本空仁
※伊吹悠道
※弘田賀峰
丸田宏子
田村和子
大原桂園
笠原廣峰
山脇佳月
利谷喜子
龜井司郎
松本世津
岩村 祥
笠原多嘉
大平圭子
鈴木輝代
横田仁夷
西森令泉
山川百合
岩谷紅花
田村眉州

★人位

※平井桂草
※橋本祝子
岡崎志津
山崎雄志
山崎隆志
山本恵歩
高橋桜芳
坂本碧香
久保地初恵
藤原朱鳳
杉本美貴
森澤美佑貴

規定

審査 福原 曉雲

★師範

東洋 弘田賀峰
須南 野中恵花
須崎 西山極山
須崎 江西澄翠
須崎 岩河里華
高知 山下枝雪
佐川 矢野峰臣
須崎 深野緑堂
波介 市原處艸
安芸 岡本幸仙
山田 岡林邦心
須崎 野島桂山

★準師範

旭筆 大八木洋女
久礼 水田紅子
久礼 中平美峰
久礼 奥堂皓月
旭筆 濱崎洋堂

吾桑 大崎花梢
吾桑 大野美賀
香北 荻野羽花
吾桑 堅田清園
佐川 戸田孝北
安芸 井口花道
高知 桑原智子
仁淀川 大崎紫陽
須南 高平圭子
須崎 森光望春
高知 丸田宏子
越知 西村芳春
佐川 池田美喜
大野見 小野山美喜
佐川 高橋朱鳥
旭筆 西森令泉
久礼 畝原和華
久礼 山本恵歩
須崎 山田恵子
山田 門田仁子
吾桑 松浦明子
旭筆 別役美佐
久礼 藤原碧泉
仁淀川 篠原朱鳳
越知 岡田雄山
窪川 横山桂華
窪川 林翠

★六段

窪川 廣田秋桜
須崎 明石玉桂
窪川 岡村玉津
須崎 利谷喜子
越知 橋本祝子
須南 坂本碧香
旭筆 下元玉泉
仁淀川 鎌倉春葉
南国 池川百合
旭筆 山田百合
東洋 岩谷紅花
東洋 伊吹悠道
明石 岩村 祥

★五段

窪川 中城康華
窪川 浪上理奈
久礼 武政幽雅
窪川 大井淳

★四段

越南 小笠原廣峰
越知 岡林翠
野川 田村星子
窪川 笠原多嘉
窪川 吉永光翠
窪川 鈴木輝代
窪川 山脇佳月
窪川 龜井司郎
室戸 濱田幸子
旭筆 濱田幸子

★三段

窪川 津野恵泉
窪川 西森啓助
窪川 岡本薫山
須崎 高橋伸水
須崎 横山星舞
越知 濱田順子
旭筆 久保地初恵
大野見 高橋翠園
旭筆 山崎隆志

★二段

窪川 横田仁夷
窪川 中澤英子
山田 杉本美邦
山田 西本仁陽
仁淀川 山岡心春
東洋 滝下明美
旭筆 坪内倫子

★初段

東洋 西尾明美
東洋 吉村久美子
須崎 市川美香
多ノ郷 前田仲枝
東洋 仁淀川大
東洋 松島利恵
東洋 根口千裕
朝倉 山本 房
仁淀川 後藤和美
仁淀川 中内泰子
仁淀川 掛水勝恵
仁淀川 藤原勝子
審査 西山 極山
須南 森光朋子
東洋 小松悦枝
高知 山中あや
仁淀川 岡田中紀
久礼 山中英男
久礼 瀨田美恵子
南国 林 真裕
南国 田内史恵
須崎 須崎 松坂美枝
須崎 須崎 橋本和世
馬路 馬路 井上由利子
馬路 馬路 川内みさ

出品票の名前は楷書ではっきり書いて下さい。

★出品票は黒枠をきちんと切って下さい。
★臨書は出典名を記入のこと。

馬路 ○金子知加 ○久保可奈	馬路 ○芝 沙織 馬路○清岡奈津子	★五級	審查 梅川 桂龍	★師範	中平幸仙 岩河里華 江西澄翠 江原桂園 浜崎洋堂 弘田賀峰 岡林邦心 水田紅子 野中恵花 西山極山 山下枝雪 奥堂皓月 大八木洋女	矢野峰臣 中平美峰 市原處艸 深瀬緑堂 野島桂山 野島桂山 市原處艸 矢野峰臣								
★準師範	西内仁子 門田恵子 氏原美泉 高橋桜芳 池 芳春 岩崎和子 田村和子 西森令泉 別役美佐 藤原朱鳳 窪田碧泉 大野美賀 山本恵歩 森光望春 平井桂香 吉田深美 井口花道 横山桂華 山中紅風 桑原智子 西村芳香 丸田宏子 芝田春琴 岡田雄山 岡田雄山 高橋紫陽 松浦明子 戸田孝北	審查 廣末 幽念	★六段	★五段	笠原多嘉 龜井司郎 小笠原廣峰 岡林 淳 鈴木輝代 浪上理奈 濱田幸子	★四段	坂本碧香 利谷喜子 岩谷紅花 橋本祝子 田村眉州 下元玉泉 伊吹悠道 鎌倉春葉 松本世津 山川千晶 池川千晶	久保地初恵 山崎隆志 西森啓助 濱田順子	○松坂美枝 ○橋本和世					
審查 野島 桂山	★三段	坪内倫子 横田仁実 西岡仁陽 中澤英子 杉本美邦 滝下明美	★初段	山本 房 大原紀美子 藤原勝子 市川美香 掛土勝恵 前田伸枝 西尾明美 吉村久美子 和田恵美 高橋由美 松島利恵	岡林 邦心	★一級	小松悦枝 川崎志津 濱田美恵子	★三級	○松坂美枝 ○橋本和世					
★四級 ○金子知加	第881回毛筆成績 ○印は昇級	中學部 審查 佐々木港花 一二年 ★特待生 介良 小松諭実 上分 朝比奈美空 朝ヶ丘 黄之瀬風	★特待生	長岡 森田千春 ★九段	長岡 安井風葵 岡豊 岡上真里 猪野雛子	★特待生	朝ヶ丘 橋田美奈 須南 前田真音 上分 窪田愛生	★七段	須崎 谷口彩心					
★六段	池川 藤原乙羽 岡豊 西田紗菜	★四段	馬路 小松わと	★一級	越知 片岡絢女	★六級	池川 鈴木悠斗 越知 ○米澤知那	毛筆五年 審查 大原 桂園	★九段	多ノ郷 森光陽菜	★八段	浦ノ内 宮地輝翔 新莊 鍋島 綜	★七段	長岡 押岡風佳

★六段 長岡 二宮嘉奈子 上分 朝比奈来夢 長岡 高芝仁貴 上分 弘田美結 多ノ郷 森岡快晴 ★五段 須南 宮本里依羽 ★二段 別府 庄武聖愛 ★一級 上分 田なべり音 池川 藤崎杜真 須崎 田村拓海 上分 柳本きい 長岡 竹内陽南子 附属 三本晴士 毛筆四年 審査 深瀬 緑堂 ★七段 多ノ郷 大城リサ ★六段 須崎 松田菜乃 上分 梅原百叶 上分 小松のぞみ 須崎 谷口桜心 須南 前田來音	★五段 長岡 宮脇改太 池川 橋井香月 多ノ郷 鶴田天牙 ★四段 岡豊 島村倅空 岡豊 西宮咲希 長岡北村さくら子 ★三段 上分 田なべり音 池川 藤崎杜真 須崎 田村拓海 上分 柳本きい 長岡 竹内陽南子 ★二段 岡豊 田所萌羽 ★初段 岡豊 中司こころ ★四級 別府 ○後藤 樹	毛筆三年 審査 中平 美峰 ★六段 小高坂 川西康介 長岡 森田実咲 ★五段 夜須 西村朝陽 ★四段 佐古 田村けんご ★三段 須南 田中碧空 須崎 金堂莉李 馬路 松坂美緒音 吾桑 小松太緒 須崎 高橋そら 津野聖佳 ★二段 浦ノ内 宮地舜翔 ★初段 夜須 清藤 蘭 吾桑 吉門蒼馬	★一級 長岡 西内明利 ★三級 吾桑 ○宮崎穂花 長岡 溝渕蒼功 ★四級 長岡 ○小笠原 湊 ★七級 奈路 ○植野 新 もうひつ二年 審査 奥堂 皓月 ★四段 須南 西村太希 須崎 毛利こ花 ★三段 須崎 田村さゆき 浦ノ内 正木芳尚 須崎 領木あみ ★二段 上分 うめばらみらい	★初段 多ノ郷 太田朋希 長岡 竹内伽菜心 岡豊 島村心遥 長岡 押岡息吹 池川 猪野光騎 藤崎菜央 ★二級 長岡 ○宮脇治太 多ノ郷 ○森光梨衣奈 ★八級 吾桑 ○長山ゆうな もうひつ一年 審査 廣末 幽念 ★二段 須崎 金堂すず ★初段 須南 宮本はるま 上分 よしむらはるか 多ノ郷 森光れんたろう	★五級 多ノ郷 ○はしだかほ ★六級 吾桑 ○高橋いぶき 上分 ○はしだいちか 朝倉 ○根口このは ★七級 しんじょう ○なかじまあやと 須南 ○田中にこ 奈路 ○植野 葵 須崎 ○谷口きずな ★新規 八級編入 岡豊 しまむらあさひ 岡豊 にしみやとうま 岡豊 なかつかさみのり ★二級 吾桑 ○松坂のぞみ	★九級 上分 ○なかじまゆいと
--	--	--	--	---	---	-------------------------------

(出品票) 低学年の生徒名も5字迄に。出来るだけ漢字を使用して下さい。

[illegible]

★二級 浦ノ内久保田健介 浦ノ内森田理央 上加里岩田愛菜	★初段 潮見須賀勇介 岡豊中司ころ 岡内田所萌羽 浦ノ内中田瑚音	★四級 別府○後藤樹	こうひつ 硬筆三年	審査市原處岬	★六級 長岡森田実咲	★五級 小高坂川西康介 夜須西村朝陽 須崎谷脇愛來	★四級 浦ノ内宮地舜翔 佐古田村けんご
★三段 須南田中碧空 吾桑高橋そら 須崎津野聖佳 久礼薦田こも音 吾桑松坂美緒音 須崎金堂莉李 夜須清藤蘭 越知米澤はると	★二段 日下井川こはく 浦ノ内小平澤里 久礼黒原小夏 馬路木下歌乃 吾桑宮崎穂花 上加里出来あや音 越知西森ゆうな 久礼笹岡れいと	★初段 上分橋田陸 馬路栗坂明日香 吾桑吉門蒼馬	★一級 長岡西内明利	★二級 大谷北○大木陽智	★一級 浦ノ内正木芳尚 須南西村太希 須崎領木あみ 須崎毛利こ花	★三段 須崎田村き雪	
★三級 吾桑○笹岡蒼馬 長岡○小笠原湊	★四級 越知○大原ほか ★五級	久礼竹本七音	★八級 奈路植野新	★十級 久礼堀田瑛太	こうひつ二年 審査小川理香	★四級	
★二段 江ノ口下村亜弥衣 浦ノ内池田り人 上分うめばらみらい 浦ノ内森田わか 浦ノ内山本みずき 浦ノ内藤田いろは	★初段 長岡竹内伽菜心 多ノ郷太田朋希 越知藤崎かの 長岡押岡息吹 長岡宮脇治太 岡豊島村心遙 多ノ郷坂本大和 久礼池川ゆうま 多ノ郷森光梨衣奈 久礼倉下かなる	★一級 長岡猪野光騎	★二級 上加里吉原あや人 久礼松山まりん 吾桑長山ゆうな	★三級 上加里山ひまり 久礼○日林ゆあ	★二級 須南宮本はるま 吾桑高橋いぶき 多ノ郷はしだかほ 森光れんたろう	★四級 浦ノ内山岡みずき 上分はしだいちか 朝倉根口このは	
★八級 夜須○白石いちか 夜須○白石いまり	★九級 久礼○黒原小春	こうひつ一年 審査石川美水	★二段 須崎金堂すず	★初段 上分よしむらはるか	★十級 須南○田中にこ	★新規 浦ノ内九級編入 岡豊中司みのり 久礼下谷ことは 岡豊	
★五級 しんじよう ○なかじまあやと 久礼○黒原りか	★六級 浦ノ内 浦ノ内岡林ゆいか 浦ノ内○徳永はやと 奈路植野葵	★七級 長岡○安井颯 久礼○土居かなな 須崎○谷口きずな	★八級 上分	★初段 須崎宮本はるま 多ノ郷はしだかほ 森光れんたろう	★十級 吾桑○鈴木花 吾桑宮崎はるか	★九級 ふたば○後藤和葉	
岡豊にしみやとうま 上加里まさおかそうし	こうひつ ようち・ほいく	★初段 審査石川美水	★三級 浦ノ内 ○よしおかまひろ	★五級 大間坂本美咲	★八級 浦ノ内 ○みやたいと		

(出品票) 低学年の生徒名も5字迄に。出来るだけ漢字を使用して下さい。

のり代		
5年 12月 毛筆		
校名		
学年		
保年		
氏名		
段		
級		

★十級

上分
○なかじまゆいと
附属
○江頭航

★新規

十級編入
浦ノ内
なかひらゆうだい



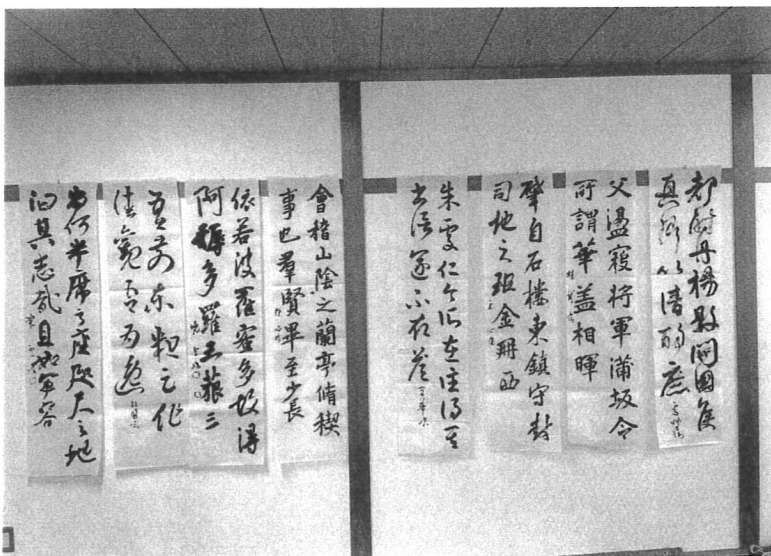
11月26日
条幅・勉強会について

○手持ちの作品や、これから
制作予定の作品、なんでも
かまいませんので、ご持参下さい。
お互いに、研さんを積もうでは
ありませんか。

(参加費 五百円)

のり代		
5年 12月 硬筆		
校名		
氏名		
段		
級		

条幅作勉強会風景



連絡・問い合わせ・送り先等

・新規入会申込と会費の送金先

・「龍跳誌」冊数変更の通知先

〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎 一三三一

隅田亘心

龍跳誌道会 事務局

01690-3-31925
電話（〇八八九）三五〇九七一 番

・月例作品の送り先

〒783-0081 南国市片山四九〇

西山極山

電話（〇八八）八六五―八八五七 番

・「龍跳誌」の内容について

〒781-7412 安芸郡東洋町河内三〇四

福原暁雲

電話（〇八八七）二九―二六五〇 番

・編集についての連絡先

〒785-0010 須崎市鍛冶町六一八

江西澄翠

電話（〇八八九）四二―三〇六七 番

・送本についての連絡先

（冊数の相違等については当方へご連絡下さい。）
〒785-0055 須崎市大谷二〇四

野中恵花

電話（〇八八九）四七―〇七二二 番

あとがき

ようやく秋らしい気配になってきました。日中はまだ暑さが残る日々です。

先日、山道を走っていると道路上にイガグリの残がい、すぐに車を除けあうところに停めて行ってみると、無傷のものもあり靴で狭み割つてみると、きれいな実が飛び出してきて自然と笑みがこぼれる、久しぶりの体験。横を通る運転手さん不審な目で見ていく。両手いっぱい収穫であつた、帰つてさっそく茹でてもらい食した。ホクホク美味しい栗で、実りの秋をいただいた。老人のおだやかなひと時であつた。

今年も残すところもう少し、会員の皆さんの協力で行事も終えそうです、もうひと頑張りお願いします。

コロナウイルス、インフルエンザ予防接種始まっています、毎日のうがい、手洗いをこまめに続けましょう。

風邪などひきませんように。

月例競書課題

部 別		締切日	
一般条幅	任 意	十二月二十日 締切	
半紙規定	時光簾已便		
半紙随意	任 意		
中学三年	初雪の遠山		
二年	古代文明		
一年	福引き券		
小学六年	寒い北国		
五年	火の用心		
四年	市		
三年	ふ		
二年	つ		
一年	る		
保 育	こ ま		

会 費 の 送 金 に つ い て

会 費 ：半年分 3,000円 / 1 年分 6,000円

1 ヶ月の龍跳誌郵送料

(幸便搬送の方は〒料不要)

11 冊以上は次の計算による。(1 ヶ月分)

①	1 冊～3 冊	80 円
②	4 冊～8 冊	150 円
③	9 冊・10 冊	210 円

〈例〉 12 冊 ③+①= 290 円×月数

17 冊 ③+②= 360 円× ”

30 冊 ③×3 = 630 円× ”

◎会費と龍跳誌〒料は原則として半年分または1 年分前納のこと。

◎送金は次の何れかへ

・〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎133-1 隅田亘心
 ・振替口座番号 01690-3-31925 龍跳書道会
 (お問い合わせ) ☎0889-35-0971

○月号 (○冊) より○月号まで○ヶ月分
 誌代 ○円 / 〒料 ○円

と記入のこと。

編集室

福原 曉 雲

野 島 桂 山

江 西 澄 翠

中 平 美 峰

発行人

福原 曉 雲 (本部)

安芸郡東洋町河内三〇四

電話 (〇八七) 二九一六五〇

発行所

龍跳書道会

電話 (〇八七) 二九一六五〇

印刷所

(有)笹岡印刷所

須崎市東古市町二一六

電話 (〇八八) 四二一〇二四四

月例作品送り先

〒783-0081 南門市片山四九〇

西山極山 宛

電話 (〇八八) 86518857